



from FRANKFURT



ジョッキを抱えてサーブするウエートレス
Courtesy of the Bavarian Brewers Federation,
Munich, Germany.

ドイツ・ビールに息づく規律と伝統

皆さんがドイツと聞いてすぐに思い出すものの一つにビールがあると思います。ドイツ人のビール消費量は世界でもトップクラスにあり、ドイツは世界のビール生産量の大半を占めるラガービールの発祥地、世界有数のビール生産国でもあります。まさにビール王国と言えるでしょう。

毎年バイエルン州の州都ミュンヘンで開催されるオクトーバーフェスト (Oktoberfest) では、ビール会社が設置する巨大なテントの中で、人々はビールで収穫を祝い、酔いしれます。民族衣装に身を包んだウエートレスが、マス (Maß) と呼ばれる 1 リットル入りのジョッキを抱えて、サーブする様子をテレビでご覧になった方もいらっしゃると思います。

オクトーバーフェストは、いまや毎年 600 万人以上



巨大なテントの中でビールに酔いしれる人々

の人々が集まる世界的な祭典となり、最近では、欧米諸国のほか、日本でもオクトーバーフェストと銘打ったビール祭りが開催されるようになりました。特に 2011 年は、日独交流 150 周年の節目の年ということもあって、日本各地でオクトーバーフェストが開催されましたので、ご近所で見掛けた方もいらっしゃるかもしれません。

本場のオクトーバーフェストでよく飲まれるビールは、昔ながらのメルツェンビール (Märzenbier) です。メルツ (März) はドイツ語で 3 月という意味で、メルツェンビールは 3 月に仕込まれ、長時間かけて熟成される色の濃い強いビールのことです。このビールは冷蔵庫がなかった時代からあり、夏でも保存が利くようにと、アルコール度数が高く、ホップが増量されています。メルツェンビールを含め、ドイツのビールは一般に「ビール純粋令」に準拠して醸造されています。「ビール純粋令」は、1516 年に当時のバイエルン公国で制定され、「ビールは、麦芽・ホップ・水・酵母のみを原料とする」と定めていました。「ビール純粋令」は廃止されましたが、別の法律に引き継がれ、その精神は、今なお生き続けているのです。世界的な祭典となったイベントの中にも、規律と伝統を重んじるところにドイツらしさを感じられるのではないのでしょうか。

(日本銀行フランクフルト事務所)